



議会だより

なよろ



増刊号

令和4年9月1日発行

令和4年7月6日～7日実施

市民との意見交換会

報告



駅前交流プラザ「よるーな」

ふうれん地域交流センター



名寄市議会
ホームページ

も
く
じ

- ◎ 議長あいさつ・市民との意見交換会実施状況 2
- ◎ 各会場からいただいたご意見 3～9
- ◎ 令和4年度「市民との意見交換会」アンケート結果 10

多くの皆さんから質問・意見をいただきました



名寄市議会議長 東 千春

議員は二班に分かれ、日程は7月6日と7日の2日間で、4か所の会場で実施し65名の市民の皆さんが参加してくださいました。意見交換会の進め方として議会での活動内容を詳細に説明したいとの思いはありますが、なるべく意見・質問をいただく時間を確保すること、多くの皆さんから声を聴かせていただくよう進行させていただきました。

今回も事前に内容を調べ、中身を整理して端的に発言していただき、またわかりやすく資料を作成していただく方もおられ、普段の生活の中から思うこと、不便に感じること、より利便性が高まることなど、どれも貴重な質問、意見ばかりでした。

議会では8月8日に両班の報告会を行い、議員全員で市民意見の情報を共有いたしました。その後、正副議長・議運正副委員長で内容を精査し、実施報告をまとめ8月12日に市長に提出いたしました。今後はいただいた意見等について各常任委員会でのテーマとして取り上げ、さらに調査する事項があれば、調査及び議論を深める作業に入ります。このように、皆さんからの声は、大切に受け止めさせていただきますので、これからも機会がありましたら意見交換会にお越しいただければと思います。

2回目は10～11月頃を目処に、4班体制で意見交換を希望する町内会を回らせていただく計画となっております。より身近なテーマについても伺いできればと考えております。またまだ、お申し込みに余裕がありますので、訪問させていただける町内会がありましたら、ぜひご連絡いただきたいと思います。

市民との意見交換会 実施状況

今回の意見交換会では、議会報告として定例会・臨時会の審議概要、議会改革、各委員会の活動状況、政務活動費などについて説明させていただきました。

なお、記載されている内容は、7月6日と7日の「市民との意見交換会」でいただいた意見などを一部抜粋しているものであり、1か月以上が経過しているため、現状に合わない意見などもあることをご承知おきください。

A 班		B 班	
班長	東 千春 (議長、市民福祉常任委員)	班長	佐藤 靖 (副議長、総務文教常任委員)
班員	倉 澤 宏 (議会運営委員会副委員長、市民福祉常任委員)	班員	塩田 昌彦 (議会運営委員会委員長、経済建設常任委員会委員)
	高橋 伸典 (総務文教常任委員会委員長)		高野 美枝子 (市民福祉常任委員会委員長)
	山田 典幸 (経済建設常任委員会委員長)		佐久間 誠 (経済建設常任委員会副委員長)
	東川 孝義 (市民福祉常任委員会副委員長)		山崎 真由美 (総務文教常任委員会副委員長)
	川村 幸栄 (市民福祉常任委員会委員)		黒井 徹 (総務文教常任委員会委員)
	遠藤 隆男 (総務文教常任委員会委員)		清水 一夫 (総務文教常任委員会委員)
	富岡 達彦 (経済建設常任委員会委員)		五十嵐 千絵 (市民福祉常任委員会委員)
	三浦 勝秀 (経済建設常任委員会委員)		今村 芳彦 (経済建設常任委員会委員)
担当会場	駅前交流プラザ「よろーな」 30人 智恵文多目的研修センター 4人	担当会場	ふうれん地域交流センター 15人 名寄市民文化センター 16人

◇各会場からいただいたご意見◇

7月6日(水) 駅前交流プラザよろーな 参加者 30人

◆カーリング場について

問 最近、市でも有望なカーリング選手が輩出されているが、市のカーリング場は通年利用できない。そのため、稚内市や道東まで足を運んでいるので、通年利用を検討してほしい。

答 カーリング場は道の施設であり、道の当初の計画が冬季のみになっていることと、夏場の稼働にはさまざまな設備など、整備が必要となるので、通年稼働の可能性は低いと考える。大々的に改修すれば可能だと思うが、シーズンを通して利用できる場所を優先的に活用していくことになるのではないか。

◆タブレットの導入について

問 市議会議員にタブレットが貸与されたが、メールで市民から意見を受け付ける考えはないのか。また、それをデータ化し、議員全員で情報共有をして、市政に反映させていく考えはないのか。

答 タブレットを導入したものの、現在試行期間中であり、有効性を高めていくために日々試行錯誤や創意工夫を重ねている。市民の皆さんからのご意見などもデジタル化の中で受け付け、市政に声を届けていく形の議会活動も検討していきたい。また、これまで同様、地域や近くの議員へ直接ご意見を届けてほしい。

◆市立総合病院の外来診療について

意見 これまでに受診したことの無い診療科で受診する際、「今はコロナの対応のため受付をしておらず、他の病院の内科で受診いただき、必要であれば市立病院に再度問い合わせてください」と言われた。新型コロナの感染拡大防止や、外来・入院共に作業量の増加もあって、対応しきれない部分もあることは理解できるが、地域のハブ病院として、レベルの高い医療機能を落とさないようお願いしたい。

◆公共交通について

問 夫婦そろって免許証を返納して数年が経過するが、今は市内バスを利用している。路線によっては、目的地に行くのに多くの時間を要することもある。路線の設定変更やバス停の見直し、イオンバスの延長運行など、利用者目線で考えてほしい。

答 運賃、時間帯、バス停の設定に加え、公共交通全般の有効なあり方について、総務文教常任委員会では今期のテーマとして調査研究を進めてきた。実地調査を重ねてきた中で、路線ルート、運賃、バス停の位置などを決めていく上では、何よりも住民主体でバス会社やタクシー会社を含めて議論を深めていくことが必要だと考える。また、議会としても重ねて努力をしていきたい。

◆出産・育児などによる休暇休職に対する、市内事業者向けの支援について

問 出産や育児、看護や介護の際の従業員の休暇取得や休職者にかかわって、行政から事業者へ向けた支援はあるのか。

答 市は「ここで育て、ここで育ててよかったといえるまち」を目指している。そのためのケアがどこまでできるかを考えていくことは大切になるが、自治体として事業者を支援していく制度は持っていない。改めて何ができるかを考えていきたい。



◆がん検診での保健センターの対応について

- 問 車椅子ユーザーが、保健センターでのがん検診に申し込んだが、「補助要員の確保が難しい」、「会場には多数の段差がある」、「検診車へ乗るにも段差があるので困難である」などの理由で断られた。今後、同じような身障者の方が、心配も気兼ねすることもなくがん検診が受けられるよう環境を整えてほしい。
- 答 今後どのような工夫が必要で、どのようなケアを進めるべきか、市民福祉常任委員会を中心に健康福祉部と協議していきたい。

◆選挙の投票について

- 問 障がいや高齢など、さまざまな困難があつて投票に行けない方に対する選管の対応について、また、代理人投票はできるのか教えてほしい。
- 答 期日前投票を市役所庁舎などで行っているが、名寄庁舎では車椅子の方に、階段昇降機を利用いただいている。手話が必要な方は、おそらく手話ができる方と普段からコミュニケーションをとっていると考えるが定かではないので、代理人制度と併せて確認する。

◆市内の温浴施設、本屋の減少について

- 問 今、サンピラー温泉が改修中で、市内に温浴施設がない。市民の中には、さまざまな理由によって困っている人がいる。サンピラー温泉が再開したとしても、市街地に温浴施設は必要だと思う。他市町では、近隣の温浴施設への送迎をしているところもある。名寄市では、何かそういうサービスがあるのか。
- また、大きな本屋がなくなった。他市では、市直営の本屋をつくったと聞く。名寄市でも、直営の本屋をつくることは考えられないか。
- 答 サンピラー温泉の改修中であり、ご不便をにかけていることは承知している。通常時はサンピラー温泉まで、定期路線バスを無料として行政サービスをしていることを理解いただきたい。市街地での温浴施設の設置に係る要望は多い。行政は、直営は難しいが民間会社が運営してくれるならサポートすることも検討できると発言している。また、少し先になるが図書館の改築を計画している。複合的、あるいは付帯設備をいろいろ模索しながら、市民が集える空間としての機能を持った図書館になるよう、行政と共に考えていきたい。

7月6日(水) ふうれん地域交流センター 参加者 15人

◆介護人材の不足について

- 問 風連のケアハウスと名寄の清峰園では、何年も前から介護人材が不足し満床に至っていないと聞かすが、今もその状態が続いているのか。
- 答 今も介護人材が不足している。ロボット導入事業で介護従事者の負担軽減を図ることや外国人の雇用の動きを進めているが、なかなか難しいところもある。ロボットや外国人に頼らざるを得ない状況になっているが、私たちも市に働きかけ、安全・安心な介護を心がける。

◆災害について

- 問 風連別川で水害が起きると農地の土砂の流出が起きる可能性が非常に多くなる。水害に対する対策を議会でも考えてほしい。また、高規格道路がこの先完成していくと、水害の危険性が非常に高くなっていく。道路排水が流れ込むなど、流域に住んでいる私たちは、非常に危機感を感じている。
- 答 水害について、しっかり受け止めたので、今後心に留め対策を進めていく。

◆公共交通のあり方について

問 東風連地域は少子高齢化ということで、非常に過疎化が進んでいる。昨年の4月から忠烈布線の代替バスが行き2便（1便増）、帰り1便となったが、時間が決まっているため利用は難しい。高齢化が進む中で公共交通のあり方について、重要な課題と感じているが、議会の考えは。

答 総務文教常任委員会では、路線を増やすということだけではなく、地域と話し合いをし、どのようなバスやデマンド交通、タクシー運行があれば利用しやすいのか、また、地域にも一定程度負担をいただきながら、地域にあった地域交通を考える時代に入っているのではないかと第2回定例会で提言した。議論した成果として、市民の皆さんの期待できる公共交通ができればと思う。

◆立地適正化計画について

問 居住誘導区域は風連地区にも定められているが、都市機能誘導区域が風連地区に定められていない。都市機能誘導区域が風連に定められていないことについて伺いたい。

答 立地適正化計画で都市機能誘導区域・居住誘導区域を決め、都市計画マスタープランが進んでいる。市としては全体的な発展を考え、どこに何を配置するのか考えていかなければならない。それぞれの地域の持っている歴史的なものや財産が失われないように、いただいた意見は心に留めておく。

意見 随時見直しはできることになっているので、ぜひ風連地区にも都市機能誘導区域を設定して、老朽化施設の建て直しの際は、風連地区にも必要な施設があれば当然そこに再配置することが可能なまちづくりの計画にしてほしい。

◆議員報酬について

問 議員報酬が議会からの提案となることに驚いている。議員が決めるのではなく、市民が議論すべきものではないか。また、改正する場合には、議員提案になるのか。考え方も含めて教えてほしい。

答 議員報酬については、名寄市議会基本条例の中に、経済力・地域性・財政力などを勘案して議員が提案する方法と、市民の直接請求の2つが規定されている。もう1つは、市民で構成される名寄市特別職報酬等審議会で審議され市長が提案する方法があるが、提言については持ち帰る。

意見 高い低いは別として、第三者の声を優先しながら議論を進めてほしい。

◆空き家対策について

問 空き家の屋根に穴があき飛んでしまったところがある。市と話をしているが遅々として進まない。どういう条例改正をしたかわからないが、行政が率先して空き家対策をしていかないと解決しない。非常に迷惑をしているので、議会としても検討をお願いしたい。

答 市民にケガや危害を及ぼすなどの切迫性が高い場合、必要最小限の措置をして、費用は所有者からいただくという内容の条例である。法を犯すことはできないが、法を超えない範囲で、皆さんの期待に応えられるような努力目標をどう設定していくのか、最大限努力したい。

◆議員提案について

問 これまでに議員提案をしたことはあるのか。また、議員提案があった場合、事例を教えてください。

答 前々任期の手話条例が、議員提案として最後の条例提案である。

◆教育費のあり方について

問 子ども達に対する家庭での経済的負担が多くなっている。中学校の宿泊研修については、バス代が、学校行事にもかかわらず親の負担で、非常に疑問を感じている。義務教育の中での教育費のあり方は、市独自の施策があってもよいのではないか。

答 持ち帰りしっかり議論していきたい。

◆風連地区の水道について

問 真熱別の頭首工からの水を利用している。カルキが少なくなって有り難いが、公害対策委員会の報告書でもわかるように、取水口の部分で大腸菌群が非常に多い。何年も前から、水が少なくなると大腸菌群が多くなり苦慮しているが対策が見えてこないと思う。サンルダムでの放水で希釈をしながら環境基準をクリアできるのか心配。

答 基準が決まっていると思う。担当者も含めて安全な水をどのように供給するのか、しっかり議論をしなければならないと思う。少し研究をさせていただきたい。

意見 議会も目を配り、何らかの対策を検討してほしい。

◆コロナ禍での公共施設の利用人数について

問 2年前に市役所から「公共施設の利用について」ということで利用人数が示されているが、利用者の許容人数を示されると、「利用するな」と言われているような気がする。令和2年に出した内容を改定する予定はないのか。

答 令和2年の当時と今とでは、公共施設の利用に当たっての注意事項は変わってきている。今は人と人との間隔を概ね前後1.5m、隣1m、長テーブルの間隔を30cm以上あけ二人掛けということになっており、部屋の人数などもそこから割り出していくことになる。国からの指針に基づいて進めているので、理解してほしい。



7月7日(木) 名寄市民文化センター 参加者 16人

◆商店街の活性化について

問 5丁目、6丁目の商店街は、年々店舗数が減少し、30数件しかないと思う。今後5年、10年後に商店街はどうなっているのかと思うが、議会の考えは。

答 個店主自体が、今後自分たちの営みを自分たちで守るということも大事である。今若手の方たちも空き店舗を利用して起業するという動きもあり、それに伴う助成制度も出てきている。コロナに関して相当打撃がある部分については、中小企業振興条例も4月から改正されているので、しっかりと

した対応がされるよう議会としても見守っていきたい。

商店街については、今行政で立地適正化計画の中で、都市機能誘導区域を設定して、市の老朽化した公共施設を建て替える時に都市機能誘導区域である中心街にもってこようという構想は1つある。どのような施策を展開していくかというのはわからないが、これからは、議会でも様々な機会でご各議員が提言あるいは質問をしていくと思うので、しばらく見守ってほしい。

◆農業振興について

問 市の基幹産業は農業だと言われている。農業が衰退すると商店街も衰退する。どのように農業を守っていくのか、ぜひ議会で議論してほしい。また、農業の振興策についても議会でいろいろな意見ができれば良い。

答 特に風連という地域は、農業の売上げで地域のコミュニティが守られていると感じている。農業の衰退というのはひとつのコミュニティが衰退することにつながると思うので、しっかり守っていく必要があると認識している。今年度は、第2次名寄市農業・農村振興計画の後期実施計画策定に向けて見直しが行われている。道北なよろ農業協同組合も次期地域農業振興計画中期経営計画の策定を進めている。今回のコロナの状況や燃料の高騰といった様々な状況を踏まえながら、今後の農業をどうしたらよいのか、市と道北なよろ農業協同組合が連携しながら新しい計画の中で、農業を振興できるように進めていくところである。それを応援したい。

◆名寄庁舎の改築について

問 昭和43年に建った名寄庁舎は、いつまでもつのか。耐震基準に沿っているのか。庁舎を新しくする以前に大きな問題を解決してからということになると思うが、職員がたくさんいるので、その辺りのことも少し考慮してほしい。

答 ご指摘のとおり、名寄庁舎は耐震構造を満たしていない。しかし、図書館や児童センターなど老朽化した施設をたくさん抱えている中でつくれるのか。今後多額の費用がかかるのは、中間処理施設、認定こども園、智恵文小中学校である。期待に応える形にはなかなかならないと思うが、限界だと思うので、ことあるごとに意見は言う。

◆名寄中学校の改築と名寄東中学校の改修について

問 第2回定例会で市長が、名中の改築に取り掛かることを表明している。どの程度の規模の学校を想定しているのか。また、先に名中の改築をして、東中を先送りして、その間に中学校を1校にするという、そのような意向はないのか。

答 昨年度行った耐力度診断テストの結果で、建物の老朽化についておおよそ認識いただいていると思う。担当課からは学齢人口の推移について説明があり、今後学齢人口が大きく減らないことから、名中は改築、東中は改修という形での提案が出されている。名中は改築ということなので建て替えることになるが、中学校を統合するという議論がなかったわけではない。1つにしたときの通学区の広さ、様々な観点を考えた結果、このような結論に至ったと説明を受けている。

◆ゴミの問題について

問 ノースタウン区のごみステーションがいっぱいになって回収されなくなった。原因は、透明の袋に何でも詰め込む人がいるため。市から分別をしてくれと言われたので仕方なくしたが、プラスチックの分別がわかりにくい。新しい処理施設ができれば、少しごみの分別はゆるくなるのか。

答 今度新しい焼却施設ができれば燃やせるものが増えるとも聞いているが、現状は炭化センターを維持しながらやっていかなければならないので、分別が非常に厳しくなっている。コロナの関係で衛生状況からみても厳しくしなければならない。また、ゴミの減量化や分別なども個々で努力し、モラル向上を目指したい。

◆町内会と議会との意見交換会について

問 先月それぞれの町内会に、議会との意見交換会を町内会単位で開催したいという案内をいただいた。現状でどの程度の町内会が開催を希望しているのか。

答 72ある町内会のうち半分に当たる36町内会に打診し、希望のある町内会は3町内会である。少しでも多くの町内会に伺って膝詰めで懇談したいと考えているので、これから返信のないところに再度連絡させていただきたいと思っている。



◆公共交通について

問 デマンド交通という言葉は聞いているが、実際どういうことなのかよくわからない。どういう要望が地域からあって、どのようにデマンド交通が運営されてきたのかを知りたい。また、どんな状況でどんな話し合いがされているのかも聞きたい。

答 風連地区の下多寄地区、日進地区にデマンドバスが導入されている。背景には、路線バスに乗る人がおらず採算がとれないということから、地域の方とやりとりをして形態を整えながら予約型の公共交通という形で運行している。今はデマンドバスに乗っている人が少なくなり、大型バスからマイクロバスに代わっている。東風連地区にはバスより小さいデマンドハイヤーという形で運行している地域がある。

7月7日(木) 智恵文多目的研修センター 参加者4人

◆限界集落の対策について

問 過疎化、少子化は、名寄だけではない。限界集落の対策について、視察先で対策されている事例を聞いていれば参考に聞きたい。

答 公共交通の例だが、バス自体に人が乗らなくなったという自治体では、そのままではバスを運行できなくなるということで、住民参加型のバス交通を実現した。国の補助も出ているが、不足する分は、地域住民でバス停に広告を出したり、少しでも利用する努力をしていた。

意見 地域の善意に頼るのも限界がある。いずれ、その集落ごとを都市部に集めるという決断をしなければならない時期がくるのではないか。

◆智恵文小中学校の校舎改築の進捗状況について

問 6月に着工するという話だったが、諸事情で延び延びとなっていると聞くと聞くと、年度内に事業が始まるのか。

答 資材高騰の影響により遅れている。

◆不法投棄について

問 春のゴミ拾い時、テレビが捨てられていた。回収したが処理の方法がわかりにくい。

答 本来、お店に持参し、お金を払い処理してもらうのが原則。ゴミ拾い時にあったということで、持ってきてもらい大変ありがたいが、行政で電気製品についてどのように処理をしているのか確認をして返事をする。

◆合併による効果と検証について

問 合併してから10年以上が経つが、効果と検証について何か報告がされているのか。それとも、これから報告される予定なのか。また、名寄市史の編さんの中で合併の検証が行われるのか。

答 良かった悪かったという検証よりも、もっと一体感を求めて、努力していくことの方が大切というような議論をしたと思う。名寄市史の編さんは始まっているが、詳細はまだ聞いていない。



◆政務活動費について

問 年間12万円の政務活動費で、議会活動ができるのか。また、議員定数が2人減るが、2人分の市民の声が今後どのように反映されるのか。議員定数が減ってきている中で、さらに市議会を発展させていけるのかを聞きたい。

答 通常は主に視察に使っており、より多くの箇所を視察して、より多くの情報収集をして持ち帰り、市政に反映させるという意気込みで行っている。これからも12万円を有効に使いたいと思っている。議員定数が減って大丈夫なのかという指摘もあったが、研鑽を積みながら、様々な工夫をし、議会としても議員としても活動の幅を広げながら、市民の皆さんに迷惑がかからないように努めていきたいと考えている。議員報酬のあり方ということでは、政務活動費も今後議論のテーマとなっていくかと思っている。

意見 個人的には、政務活動費はもう少し上げた方がいいと思う。調査内容等も費用に見合うようにレベルアップをしてほしい。

実施報告会を開催し、議員間で情報共有を図る

参加をいただいた皆さんからは、議会運営に対する意見をはじめ、公共交通のあり方や継続的な地域課題など多くの質問・意見・要望などをいただきました。8月8日に全議員参加による実施報告会を行い、議員間の情報共有および共通認識を図りました。



市長に実施報告書を提出

市民の皆様からいただいた質問・意見については、正副議長と議会運営委員会正副委員長で内容を精査し、8月12日市長に「市民との意見交換会」実施報告書として提出いたしました。議会としても提言・要望等として各所管にも周知・対応等について検討いただくようお願いしてきました。



令和4年度「市民との意見交換会」アンケート結果

※回答内容につきましては、紙面の都合上、自由記載を中心に記載しております。

問 あなたの年齢は？

- ①20代(2人) ②30代(1人) ③40代(3人) ④50代(14人)
⑤60代(5人) ⑥70代以上(28人) 未回答(0人)

問 あなたの性別は？

- 男(39人) 女(14人) 未回答(0人)

※今後、市民との意見交換会について改善すべきことがあればお書きください。

▶参加議員全員の発言機会があるといい。▶もっと若い人がたくさん参加するような工夫があるといい。(3件)▶今回参加して大変有意義な内容の話がたくさんできた。議員の視察等も含めて勉強していることがよく理解できた。そのような内容を公開して市民参加の拡大を図れば市の発展に繋がると思う。▶私は耳はいい方だが、音響が悪くて質問内容が聞き取りづらい。声がこもることが多い。選定場所が悪い。▶発言する時間が少なくなるので、もっと説明を少なくしてほしい。(2件)▶説明のページが飛びすぎてどこを説明しているのかわかりづらい。▶報告が長すぎる。(2件)▶報告書に書いてあることは時短のため口頭説明なしでいいと思う。(障がいのある方がいた場合は要配慮で)▶意見交換会ならば報告はせいぜい15分程度にして意見交換時間を獲得すべき。質問者の問題提起も長い。改善すべきことだと思う。配席図のとおり議員が座っていないのはなぜか。市民軽視ではないのか。▶一人でも多く出席できるようにしたいと思う。何か手立てはないのか。▶お茶は冷たい方がいい。▶デマンド交通、ペーパーレス、タブレット等、私たちには聞き慣れた言葉も、お年寄りには何のことやらと言われた。多くの人を対象としている意見交換会は、もっと分かりやすい言葉を使うべきではないか。▶各町内会からの意見が多かった。できれば町内会ごとに開催できればと感じた。(2件)▶日程等の調整が困難と思うが各町内会からも意見を吸い上げた方がいいと思う。▶市民参加を増す努力をしてほしい。▶市民側に風よ自分に吹けと言わんばかりの意見が多かった。

問 議会に対してご意見等があれば、自由にお書きください。

▶市民の意見をどんどん拾ってほしい。▶デジタル化の活用は賛成だ。▶今回出ていた市民からの意見に議員の皆さんが誠意のある返しをしていたことに感謝する。▶議員の皆さんの顔を正面から見ることができ、話を聞き、市民も正面から向き合うことができれば理想だ。タブレットの使い方は安易になるものではないと思う。▶意見のデータ化に賛成だ。LINEで市役所と繋がっているので、そこに市民の意見を書けると、こうした会に参加できない人も自分の気持ちを伝えられると思う。▶初めて参加したが市民からの意見もあり非常にいい機会だと思った。議員も真剣に考えてほしい。▶変な質問をしてしまっても丁寧に応じてもらったので有り難かった。▶数多くの意見、要望を取りまとめて地域コミュニティ、住民目線で市政が執り行えるよう努力してほしい。▶議員個々も、もっとタウンミーティングとか増やせば名寄市はもっと良いまちになると思う。▶市民の意見、要望を議会に反映させてほしい。▶デマンドバスに買い物サービス等の付加価値を付け、それに対して補助を出せないものか。▶空き家バンクとして今後、空き家になり得る物件の把握。(空き家化の防止)▶どんどん研修をして名寄市をよくしてほしい。頑張してほしい。▶定数や報酬を削ることが議会改革ではない。議会内での質問や政策立案こそが本分である。現市議会は市長の追認機関にしか見えない。▶議員報酬は名寄が一番低いみたいだが自慢にはならないと思う。そこそこ上げて文句はないと思う。▶令和5年4月の市議選挙から、2名削減となった。ますます議員に対する期待は高まることになる。議員活動に集中してもらうために報酬額を増加し、現役子育て世帯の方達にも議員活動に集中していただきやすくなればと思う。▶近隣の議員間の協議で、この地域の問題について理解を深める必要がある。▶市道をもっと整備してほしい。